

トレボン乳剤はたくさんの作物と害虫に使えます。



有効成分:エトフェンプロックス…20.0%
その他のPRTR該当成分:キシレン [PRTR・1種63] …76.7%

トマト コナジラミ類	きゅうり コナジラミ類 アブラムシ類	ピーマン アブラムシ類	てんさい ヨトウムシ	キャベツ アオムシ、コナガ、ヨトウムシ、アブラムシ類
すいか アブラムシ類 コナジラミ類 ハスモンヨトウ ヨトウムシ	稻 コブノメイガ、ツマグロヨコバイ ウンカ類、イネドロオイムシ、イナゴ類 カメムシ類 イネミズゾウムシ	オクラ アブラムシ類 カメムシ類	はくさい アブラムシ類	だいこん
さといも さといも(葉柄) ハスモンヨトウ	ふき コナジラミ類 フキノメイガ ヨトウムシ	オクラ アブラムシ類 カメムシ類	レタス アブラムシ類	メロン ア布拉ムシ類 コナジラミ類
しょうが 葉しょうが ハスモンヨトウ	さやえんどう シロイチモジョトウ ウラナミシジミ ヨトウムシ	実えんどう シロイチモジョトウ ウラナミシジミ ヨトウムシ	えだまめ マメシンクイガ シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 フタスジヒメハムシ ハスモンヨトウ	かんきつ コアオハナムグリ ケシキスイ類 ミカンハモグリガ チャノキロアザミウマ
せり うど ア布拉ムシ類	豆類(種実) マメシンクイガ、ア布拉ムシ類 シロイチモジマダラメイガ カメムシ類、フキノメイガ ダイズサヤタマバエ フタスジヒメハムシ ハスモンヨトウ ウラナミシジミ	とうもろこし アワノメイガ アワヨトウ	ねぎ シロイチモジョトウ	さやいんげん ワタアブラムシ グラナミシジミ マメノメイガ
かんしょ ナカジロシタバ ア布拉ムシ類 ハスモンヨトウ	やまのいも やまのいも(むかご) ア布拉ムシ類 ヤマノイモコガ ハスモンヨトウ	にがうり ア布拉ムシ類、ウリノメイガ カメムシ類、コナジラミ類 ヨトウムシ類	ポインセチア コナジラミ類	りんどう ア布拉ムシ類
小麦 ヒメトビウンカ ア布拉ムシ類	休耕田 カムシ類	タバコ タバコガ ヨトウムシ ア布拉ムシ類	宿根かすみそう シロイチモジョトウ ヨトウムシ	きく ア布拉ムシ類
樹木類 チャドクガ マイマイガ マツカレハ エダシヤク類 オビカレハ アメリカシロヒトリ	茶 チャノホソガ、チャノミドリヒメコバイ チャノキロアザミウマ	つつじ ツツジゲンバイ	トルコギキョウ ハスモンヨトウ	ゆり ア布拉ムシ類

栽培する作物、発生する害虫に合わせてご使用ください。



●適用害虫名と使用方法

作物名・ 適用場所	適用害虫名	希釈倍数(倍) 使用液量	使用時期	使用回数 ※※	使用方法
稲	コブノメイガ	1000	収穫21日前まで	3回以内	
	ツマグロヨコバイ、ウンカ類 イネドロオイムシ、イナゴ類	1000~2000			
	カメムシ類、イネミズヅウムシ ウンカ類	2000 300~600(25ℓ/10a)			
	ツマグロヨコバイ、 イネミズヅウムシ、イネドロオイムシ	300 (25ℓ/10a)			
	カメムシ類	600(25ℓ/10a)			
水田作物、畑作物 (休耕田)※	カメムシ類	2000	—		
キャベツ はくさい だいこん	アオムシ、コナガ、 ヨトウムシ、アブラムシ類	1000~2000	収穫3日前まで 収穫7日前まで		
ねぎ レタス	シロイチモジトウ アブラムシ類	1000	収穫21日前まで 収穫14日前まで	2回以内 3回以内	
すいか	アブラムシ類、コナジラミ類、 ハスモンヨトウ、ヨトウムシ	—	収穫3日前まで	4回以内	
メロン	アブラムシ類、コナジラミ類	—			
なす	コナジラミ類	—			
ピーマン	アブラムシ類	1000~2000	収穫前日まで	3回以内	
オクラ	アブラムシ類、カメムシ類	—			
きゅうり	ア布拉ムシ類、コナジラミ類	—			
にがうり	アブラムシ類、ウリノメイガ、 カメムシ類、コナジラミ類、 ヨトウムシ類	—	収穫3日前まで		
トマト	コナジラミ類	1000	収穫前日まで		
さやえんどう 実えんどう	シロイチモジトウ、ウラナミシジミ、 ヨトウムシ	—	収穫7日前まで		
さやいんげん	ワタアブラムシ、ウラナミシジミ マメノメイガ	—	収穫21日前まで	2回以内	
えだまめ	マメシングイガ、カメムシ類、 シロイチモジマダラメイガ、 ダイズサヤタマバエ、 フタスジヒメハムシ	1000~2000	—		
未成熟ささげ	アブラムシ類	—	収穫前日まで		
うど	アブラムシ類	1000	根株養成期 (収穫200日前まで)	1回	
モロヘイヤ	アザミウマ類	—			
かんきつ	コアオハナムグリ、ケシキスイ類 ミカンハモグリガ	1000~2000	収穫14日前まで	3回以内	
小麦	チャノキイロアザミウマ	2000	—	2回以内	
とうもろこし	ヒメトビウンカ、アブラムシ類	—	収穫7日前まで	4回以内	
ばれいしょ	アワノメイガ、アワトウ	—	収穫14日前まで		
かんしょ	アブラムシ類	—	収穫7日前まで		
やまのいも やまのいも(むかご)	ナカジロシタバ、アブラムシ類 ハスモンヨトウ	—	収穫14日前まで		
さといも	アブラムシ類、ヤマノイモコガ ハスモンヨトウ	—	収穫7日前まで		
さといも(葉柄)	ハスモンヨトウ	—			
豆類 (種実、ただし、 あずきを除く)	マメシングイガ、アブラムシ類、 シロイチモジマダラメイガ、 ダイズサヤタマバエ、 カムシ類、フタスジヒメハムシ、 ハスモンヨトウ、ウラナミシジミ、 フキノメイガ	1000	収穫14日前まで	2回以内	
あずき	マメシングイガ、アブラムシ類、 シロイチモジマダラメイガ、 ダイズサヤタマバエ、 カムシ類、フタスジヒメハムシ、 ハスモンヨトウ、ウラナミシジミ、 ノメイガ類	—	収穫7日前まで	3回以内	
しょうが 葉しょうが	ハスモンヨトウ	—	収穫14日前まで	2回以内	
ふき	コナジラミ類、フキノメイガ、ヨトウムシ	1000~2000	—		
てんさい	ヨトウムシ	1000	収穫14日前まで		
みずいも(水田)	オキナワニガモドキ	(100~150ℓ/10a)	収穫30日前まで		
せり(水田)	アブラムシ類	—	摘採21日前まで		
茶	チャノホソガ、チャノミドリメコバイ、 チャノキイロアザミウマ	2000	—		
たばこ	タバコガ、ヨトウムシ	1000~2000	—		
つつじ	アブラムシ類	2000	—		
樹木類	ツツジグンバイ	—			
ポイントセチア	アメリカシロトリ、チャドクガ、 マイマイガ、マツカバハ、エダシャク類	4000	幼虫発生期		
宿根かすみそう	オビカラハ	2000	—		
りんどう	シロイチモジトウ	1000	—		
さく カーネーション	ヨトウムシ	—			
ゆり	ヒラズハナアザミウマ	2000	発生初期		
トルコギキョウ	アブラムシ類	1000	—		
	ハスモンヨトウ				

※ヨシ、オギ、スキ、セイカアワダツソウ等の多年生雑草が優占している休耕田 ※本剤の使用回数および、エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数を示す。

*本製品は農業用殺虫剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。

*本印刷物は平成20年2月20日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

人畜毒性:普通物 1) 魚毒性:B類相当 2) 農林水産省登録 第17171号

1)「毒性および劇物取扱法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

2)魚毒性の分類例(有効成分換算値)

分類	コイの半数致死濃度(48時間)	ミジンコの半数致死濃度(3時間)
A類	>10ppm	>0.5ppm
B類	0.5~10ppm	≤0.5ppm
C類	≤0.5ppm	—

△ 使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
 - 本剤を本田の水稻に対して希釈倍数300~600倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度運動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
 - 本剤のかんきつ、茶での散布は、場合によりハダニ類がふえることがあるので注意してください。
 - ねぎのシロイチモジトウの防除に使用する場合は、食入前の若令幼虫期に散布してください。
 - さくのアブラムシ類への使用にあたっては、一部地域のワタアブラムシでは効果が劣ることがあるので使用をさせてください。
 - 蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にからないようにしてください。
 - 敷器、作業衣等は桑用と必ず区別してください。
 - 敷布に際してはミツバチ及び巣箱に絶対からないようにしてください。
 - 本剤は水産動物に影響を及ぼすので養魚田での使用はさせてください。
 - 甲殻類及び冷水魚に特に影響を及ぼすおそれがあるので、養殖池等周辺での使用はさせてください。なお、比較的低濃度でも魚が平衡失調を起こすおそれがあるので十分注意してください。
 - 敷液が水槽、池、河川等に入らないように注意してください。
 - 誤飲等のないよう注意してください。
 - 本剤は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
 - 原液は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないように注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
 - 敷布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
 - 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。
 - 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう繩囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
 - 本剤は自動車等の塗装面に散布液がかかると変色する恐れがあるので、散布液がかからないよう注意してください。
 - 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意してください。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 万一、誤食・誤飲した場合には、速やかに医師の手当を受けてください。皮膚などにかかった場合には、十分な水で洗い流してください。さらに、異常を感じた場合は、医師の手当を受けてください。
- 使用前にはラベルをよく読んでください。
 - ラベルの記載以外には使用しないでください。
 - 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
 - 容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。
 - 防除日誌を記帳しましょう。